

## 第2章 5か年戦略の策定・基本目標の設定と検証の枠組み

### 1 5か年戦略の策定

第2期西海市まち・ひと・しごと総合戦略は、将来目標人口を達成するため、国・県の総合戦略の基本目標や取組方針及び本市の後期基本計画との整合を図り、令和4年度を初年度とする今後5か年の戦略とします。

- 総合戦略の期間：令和4年度～令和8年度
- 将来人口の目標値：令和42年(2060年)に人口30,000人

### 2 基本目標の設定

国が示す総合戦略では、人口減少の克服と地方創生を確実に実現するため、従来の方針を検証しつつ、以下の5つの原則に基づいた施策を展開するとしています。

本戦略においても、国の基本的な考え方や政策の5原則を踏まえ、具体的な戦略として、基本目標を設定し、施策を展開することで、本市における「人口減少の抑制と地域経済の縮小の克服」、「まち・ひと・しごとの創生と好循環」の実現を目指します。

#### ■ 「まち・ひと・しごと創生」政策5原則(一部略)

- ① 自立性  
地方公共団体・民間事業者・個人等の自立につながるような施策に取り組む。
- ② 将来性  
施策が一過性の対症療法にとどまらず、将来に向かって、構造的な問題に積極的に取り組む。
- ③ 地域性  
地域の強みや魅力を活かし、その地域の実態に合った施策を、自主的かつ主体的に取り組む。
- ④ 総合性  
施策の効果をより高めるため、多様な主体との連携や、他の地域、施策との連携を進めるなど、総合的な施策に取り組む。その上で、限られた財源や時間の中で最大限の成果を上げるため、直接的に支援する施策に取り組む。
- ⑤ 結果重視  
施策の結果を重視するため、明確なPDCAメカニズムの下に、客観的データに基づく現状分析や将来予測等により短期・中期の具体的な数値目標を設定した上で施策に取り組む。その後、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善などを行う。

基本目標の設定にあたっては、国の基本目標や政策体系の見直しを参考に5年後の基本目標を設定します。  
本市では、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が定める4つの基本目標、横断的な目標を踏まえ、本市の目標人口である令和42年(2060年)の人口30,000人程度とする人口の将来展望の達成に向け、本市の特性や実情に合わせた基本目標、実現するための施策方針を次のとおり設定します。

なお、横断的な目標に係る施策については、主となる基本目標の施策に記載しています。

図表 計画期間における戦略体系



### 3 総合戦略の評価・検証

各種事業の検証や必要な改善等を図りながら、将来展望に掲げる目標人口、各基本目標の実現に向けて総合戦略に掲げる取組を推進するため、「PDCAサイクル」を確立し、基本目標ごとに設定した重要業績評価指標(KPI<sup>※</sup>)の達成状況の評価・事業効果の検証を図ります。

図表 PDCAサイクル

